

野川の自生種フジバカマの保全について

平成28年6月4日 安達榮一

1 概要

フジバカマは、秋の七草の一つですが、現在は環境省のレッドリストでは、準絶滅危惧種に位置づけられている貴重な多年生の在来植物です。

5年前（平成23年）の秋に水辺の法面にフジバカマが自生していることが分かり、東京都北多摩南部建設事務所をお願いして、翌年（平成24年）からフジバカマ付近だけを草刈りをしないようにして頂いたところ、秋には花が咲き、種も採取することができました。フジバカマを好む蝶アサギマダラもここに来てくれました。このゾーンで、フジバカマを保全するために、その後も、引き続き都の草刈りを除外して頂いています。その代わりに市民が草刈りをしております。

2 フジバカマ・ゾーンの状況

フジバカマ・ゾーンの面積は、約120㎡（幅約4m、長さ約30m）です。フジバカマは、野川が降雨で増水しても、冠水しない位置に生育しています。秋には、草丈は、高いもので170cm程度になります。花期は、9月下旬から10月下旬です。



野川のフジバカマ（平成26年9月撮影）



アサギマダラ（平成25年9月撮影）

3 付随した活動

野川で採取したフジバカマの種を蒔いて、毎年、自宅で苗を育てて、野川付近の公園などに苗を提供しています。

平成25年は、大沢コミセン7株、三鷹市星と森と絵本の家（国立天文台構内）6株、

平成26年は、日立中研究所の庭園45株、野川公園30株、大沢コミセン10株、

平成27年は、三鷹市星と森と絵本の家30株、羽沢小学校30株、神代植物公園植物多様性センター30株

平成28年は、大沢コミセン10株

などの提供をしております。